

【プログラム】(受付開始12:30～)

≪10月24日(木)≫

13:00～13:05 【開会挨拶】

五十嵐靖之 (北海道大学大学院先端生命科学研究院)

13:05～13:20 【一般講演 O-1】

スフィンガジエン含有スフィンゴ脂質の生合成経路の解明

○枝川菜生¹・城島啓佑¹・澤井恵¹・大野祐介^{1,2}・木原章雄^{1,2}

(¹北海道大学大学院生命科学院・²北海道大学大学院薬学研究院)

13:20～13:35 【一般講演 O-2】

スフィンゴシン 1-リン酸のリン脂質ホスファターゼ非依存的な取り込み機構

○後藤大空¹・宮本政宗¹・木原章雄^{1,2}

(¹北海道大学大学院生命科学院・²北海道大学大学院薬学研究院)

13:35～13:50 【一般講演 O-3】

LC-MS/MSを用いた測定によるヒトおよびマウス角質層セラミド組成プロファイルのアップデート

○川名桃子¹・宮本政宗²・澤井恵²・大野祐介^{1,2,3}・木原章雄^{1,2,3}

(¹北海道大学薬学部・²北海道大学大学院生命科学院・³北海道大学大学院薬学研究院)

13:50～14:05 【一般講演 O-4】

マウス及びヒトの免疫受容体 CD300f による脂質認識の違いは免疫グロブリン様ドメインの一アミノ酸変異に依存する

○伊沢久未・貝谷綾子・奥村康・北浦次郎 (順天堂大学アトピー疾患研究センター)

14:05～14:20 【一般講演 O-5】

海洋原生生物におけるスフィンゴ脂質の構造、代謝および局在解析

○石橋洋平¹・永富正樹¹・富永弦¹・長谷川菜摘¹・宮本智文²・森本恵¹・

笠利水斗¹・小原淳一郎¹・山路顕子³・沖野望¹・小林俊秀⁴・伊東信¹

(¹九大院農・²九大院薬・³理研・⁴CNRS)

14:20～14:35 【一般講演 O-6】

遊離セラミドの消化管吸収の評価

○太田知志¹・川上祥子¹・安藤晃規¹・小川 順¹・開 忍²・宮鍋征克²・

植木達朗³・真鍋祐樹¹・菅原達也¹

(¹京都大学大学院農学研究科・²株式会社ジェヌイン R&D・³福岡県醤油醸造協同組合)

14:35～14:50 【一般講演 O-7】

植物セラミドの固有構造:分子進化からみた生物学的意義と産業利用への展望

○石川寿樹・川合真紀 (埼玉大学大学院理工学研究科)

(休憩)

15:00～15:15 【一般講演 O-8】

Synthesis of stereoisomers of GM3 and discovery of their stereochemical effects on induction of neurite outgrowth

○Sajeer Koolath¹・Yuta Murai²・Seigo Usuki²・Tomoya Suzuki¹・Yasuyuki Igarashi² and Kenji Monde² (¹Graduate School of Life Science, Hokkaido University・²Faculty of Advanced Life Science, Frontier Research Center for Advanced Material and Life Science, Hokkaido University)

15:15～15:30 【一般講演 O-9】

Regulation of sphingomyelin metabolism and insulin resistance - Roles of SFK-signaling platform organized by GPRC5B -

Yoshio Hirabayashi

(Riken Cellular Informatics Laboratory, RIKEN Cluster for Pioneering Research, Juntendo University, Graduate School of Health Care and Nursing)

15:30～16:30 【海外招待講演 S-1】

Plant plasma membrane: role of sphingolipids in interdigitation, lipid asymmetry and nanodomain formation

Adiilah Mamode-Cassim¹・Nagano Minoru¹・Laetitia Fouillen¹・Magali Deleu²・Laurence Lins² and ○Sébastien Mongrand¹

(¹Laboratoire de biogenèse membranaire, CNRS / Université de Bordeaux. 33883 Villenave d'Ornon, France・²Laboratoire de Biophysique Moléculaire aux Interfaces, Université de Liège, B-5030 Gembloux, Belgium)

16:30～17:30 【海外招待講演 S-2】

1-Deoxy-Sphingolipids – When Sphingolipids Become Headless

Thorsten Hornemann

(UniSpital Zurich, University Zurich, Rämistrasse 100, CH8091 Zurich Switzerland)

18:00～20:00 【情報交換会】

ホテルマイステイズ札幌アスペン

≪10月25日(金)≫

9:00～9:15 【一般講演 O-10】

病原性抗酸菌によるヒト好中球感染機構におけるセラミド代謝産物の役割

中山仁志^{1,2,3}・堀田知美²・中村洸太⁴・○岩渕和久^{1,2,3}

(¹順天堂大学医療看護学部生化学研究室・²同大学院医学研究科環境医学研究所・
³同医療看護学研究科感染制御看護学・⁴同医学研究科呼吸器内科学)

9:15～9:30 【一般講演 O-11】

C型肝炎ウイルス複製膜複合体におけるスフィンゴミエリンの必要性

ホッサムゲワイド¹・青柳東代¹・有田峰太郎¹・渡士幸一¹・鈴木亮介¹・熊谷圭悟²・

山地俊之²・深澤征義²・村松正道¹・脇田隆字¹・相崎英樹¹・○花田賢太郎²

(¹感染研・ウイルス第二部・²細胞化学部)

9:30～9:45 【一般講演 O-12】

スフィンゴミエリン合成酵素・欠損は高脂肪食による大腸炎を抑制する

○橋爪智恵子¹・藤田純¹・藤井頼孝¹・三上大輔²・谷口真³・小坂健夫¹・五十嵐靖之²・
岡崎俊朗⁴

(金沢医科大学・¹一般・消化器外科学・³総合医学研究所・²北海道大学大学院
先端生命科学研究院・⁴石川県立大学生物資源工学研究所)

9:45～10:00 【一般講演 O-13】

植物由来のセラミドの摂取による実験的大腸炎の緩和

○浅沼成人 (明治大学農学部)

10:00～10:15 【一般講演 O-14】

マスイメージングによる脳に含まれる遊離セラミド検出のカチオン化剤の検討

○臼杵靖剛¹・村井勇太¹・門出健次¹・向井克之^{1,2}・五十嵐靖之¹

(¹北海道大学先端生命科学研究院・²株式会社ダイセル)

10:15～10:30 【一般講演 O-15】

グリコシルイノシトール ホスホセラミドの単離法の開発

○田中保^{1,2}・Rumana Yesmin Hasi¹・森戸克弥¹・小暮健太郎¹・林順司²・川上竜巳²・
金丸芳²・今井博之³・石川寿樹⁴

(¹徳島大院・社会産業理工・²徳島大院・医歯薬・³甲南大院・自然・⁴埼玉大院・理工)

(休憩)

- 10:40～10:55 【一般講演 O-16】
超臨界流体クロマトグラフィーを用いた植物由来グルコシルセラミドとステリルグルコシドの
迅速分析
○永井寛嗣・向井克之・新蔵聡・大西敦（株式会社ダイセル）
- 10:55～11:10 【一般講演 O-17】
パイナップル由来グルコシルセラミド配合食品の定量・定性分析
○岩崎大剛・川本広明・水本俊行・三宅康夫・栗原浩誠（丸善製薬株式会社）
- 11:10～11:25 【一般講演 O-18】
アトピー性皮膚炎患者の疑似セラミド塗付による角層セラミドプロファイル変化の特徴
○石田耕一¹・高橋昭彦¹・芋川玄爾²
(¹花王(株)研究所・²宇都宮大・バイオサイエンス研究教育センター)
- 11:25～12:05 【国内招待講演 L-1】
セラミドによるエクソソーム産生誘導とその神経疾患関連機能
湯山耕平（北海道大学大学院先端生命科学研究院）
- 12:05～13:30 【昼食】・【運営委員会】
- 13:30～13:40 【総会】
- 13:40～13:45 【Young Investigator Award 表彰式】
- 13:45～14:25 【国内招待講演 L-2】
グルコシルセラミドの食品機能性 ー特に消化管炎症に関する最近の知見ー
○木下幹朗・山下慎司（帯広畜産大学生命・食料科学研究部門）
- 14:25～15:05 【国内招待講演 L-3】
天然物由来遊離セラミドの素材化
○開 忍・宮鍋征克（株式会社ジェヌイン R&D）

(休憩)
- 15:15～15:55 【国内招待講演 L-4】
セラミド関連脂質分解酵素の構造、分子進化および生物機能
伊東 信（九州大学大学院農学研究院生命機能科学）
- 15:55～16:00 【閉会挨拶】
木原章雄（北海道大学大学院薬学研究院）